

# ☆ちゅうりっぷ組だより☆

常盤幼稚園 令和6年3月19日 ちゅうりっぷ組 担任 鈴木真悠



年少組での1年間は気付けばあっという間に過ぎて行き、本日で3学期も終わりを迎えました。

1学期は、保護者の方と離れられず、泣いてしまったり、新しい環境で自分のことで精一杯だった子ども達が、幼稚園でも笑顔で元気に過ごせるようになったり、気の合うお友達を見つけて遊べるようになりました。自分らしく、好きな遊びを見つけてキラキラした目で夢中になって遊ぶ姿がとても可愛らしかったです。友達と関わることで、時には喧嘩をしてしまうこともありました。その度に、手を出すのではなく、先生と一緒に自分の思いを言葉で伝えながら、自分とは違う思いがあることを知り、友達のことをもっと深く知ることができました。

2学期は、運動会や遊戯会など、たくさん行事があり、クラスでの関わりが密になりました。一人ひとりが頑張った運動会、皆で力を合わせて頑張った遊戯会、子ども達にとっても、行事での経験は、大きな自信になったことと思います。今でも「楽しかったね」の声が聞こえてきます。行事を通して、色々な友達の存在にも気付いて、友達の輪が広がりました。少しずつ皆でルールのある遊びができるようになってきて、皆で遊んだり、子ども達だけでバナナ鬼や、だるまさんがころんだを始める姿も見かけるようになりました。1学期は先生が側にいないと不安だった子ども、気付けば「お外で〇〇ちゃんと遊んでくる！」と元気に遊びに出かけていて、とっても嬉しくなりました。まだまだ友達とトラブルが起きることもありますが、友達に言葉で伝えようとしていたり、困った時には、先生に上手に伝えられるようになり、友達の思いにも気づけるようになってきました。

3学期には、ゆったりと遊ぶ時間が取れて室内でも園庭でも元気いっぱい遊んでいました。室内遊びでは、フルーツタルトのままごとが皆大好きで、友達と相談しながら盛り付けたり、ケーキを使って皆でパーティーを楽しんでいました。正月遊びも盛り上がり、おすしカードや絵カルタ、こま回しで競い合って、一喜一憂する全力な姿が微笑ましかったです。外遊びでは、寒さにも負けず、皆で追いかけてこをしたり、友達と貸し借りをしながら三輪車を楽しみました。入園当初は、おもちゃの取り合いが様々な場所で起きていましたが、「どうぞ。」と優しく次の友達に譲ってあげている姿に成長を感じます。日々の友達との関わりから、相手から言われて嬉しい言葉や、悲しい言葉にも気付けるようになってきて、強い言葉で「だめだよ！」と言っていた子ども「こうしたほうがいいんじゃない?」「危ないよ」等、優しく教えてあげている姿を見て、相手の気持ちを考えようとする思いやりの気持ちが育ってきていることにも成長を感じました。また、友達が泣いていると「大丈夫?」「どうしたの?」と心配する姿や、友達が嬉しそうにしていると自分のことのように「良かったね!」と隣で喜んで笑ったりする姿に、心が温かくなります。

お支度では、3学期から、年中さんに向けて名札の付け替えや、今までロッカーの上に置いていた園服と帽子をロッカーに入れる練習が始まり、最初は「できない! やって~!」と言っていた子ども練習しているうちに「見て! 一人でできたよ!」とにこにこ教えてくれるようになりました。また、ピロティから1人で歩いて登園できたり、自分からトイレに行けたり、たいこ橋やタイヤ登りができるようになったり、給食を完食できたり、苦手なこともやってみようとしていたり…子ども達はこの1年間、とっても頑張りました! お家でも是非、たくさん褒めてあげてください…! 私は、子ども達の成長を側で見守ることができて、『できた…!』と一緒に喜べる瞬間が沢山あり、ちゅうりっぷ組の担任になることができ、とっても幸せでした。

元気いっぱい! 可愛いちゅうりっぷ組さんと、明るい保護者の皆様、いつも朗らかで優しいゆうこ先生にサポートしていただき、無事に修了式を迎えます。至らない点多々ありましたが、温かいご理解とご協力、本当にありがとうございました。私にとって、ちゅうりっぷ組さんとの日々は、かけがえのない宝物です。いつまでも、どこにいても、ずっと皆のことが大好きです。